

学級・領域	知的障がい特別支援学級・生活単元学習
単元名	「〇〇〇ピザ」開店です

1 単元の目標（学級として）※個に応じて、より具体的にしたものを別途設定します。

- ピザを作ったり、お店の準備をしたり、招いた人とやりとりしたりすることができる。（知識及び技能）
- 教師や仲間と一緒に、必要な事柄を考え、伝えることができる。（思考力・判断力・表現力等）
- 仲間と協力して活動する楽しさを味わいながら、進んで役割を果たそうとすることができる。また、自分に自信をもち、できるようになったことを生活や学習に生かそうとすることができる。（学びに向かう力・人間性等）

2 単元の評価規準（学級として）※個に応じて、より具体的にしたものを別途設定します。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
ピザを作ったり、お店の準備をしたり、招いた人とやりとりしたりしている。	教師や仲間と一緒に、必要な事柄を考え、伝えている。	①仲間と協力して活動する楽しさを味わいながら、進んで役割を果たそうとしている。 ②自分に自信をもち、できるようになったことを生活や学習に生かそうとしている。

3 取り扱う教科、段階、内容（Aさんの場合）※個に応じて設定します。

- ・ 中学部 国語 | 段階 A 聞くこと・話すこと
イ 話す事柄を思い浮かべ、伝えたいことを決めること（思考力、判断力、表現力等）
- ・ 中学部 数学 | 段階 C 測定
イ（ア）④日常生活に必要な時刻や時間を求めること（知識及び技能）
- ・ 職業・家庭科（家庭分野）| 段階 B 衣食住の生活
イ 調理の基礎（ア）簡単な調理の仕方や手順について知り、できるようにすること（知識及び技能）
イ 調理の基礎（イ）簡単な調理計画について考えること（思考力、判断力、表現力等）

4 指導と評価の計画（全14時間）

時間	主な学習活動・内容	評価規準	教科等
1・2	・開店において計画をたてよう。	思・態①	国語
3・4	・ピザを作って食べてみよう。	知・思・態①	職業・家庭科、数学
4・5	・お店に必要なものを作ろう。	知・思・態①	国語、職業・家庭科
6・7	・役割を決めて、動きを練習してみよう。	知・思・態①	国語
8・9	・実際にピザ作りを入れて、やってみよう。	知・思・態①	国語、職業・家庭科、数学
10・11	・学校の先生を招こう。	知・思・態①	国語、職業・家庭科、数学
12・13	・野菜づくりでお世話になった方を招こう。	知・思・態①	国語、職業・家庭科、数学
14	・振り返りをしよう。	思・態②	国語

※【本単元につながる前単元までの学び】

前単元として「野菜を育てよう」を設定している。「みんなでピザを作って食べたいな。」「ピザ屋さんをやりたいな。」等、子どもの願いを引き出し、本単元につなげている。また、これまでに経験した「販売」や「調理」「お楽しみ会」などでの学びを活かすことができるように、意図的に指導する。

Aさんには、教科別の学習（数学）で、時間（秒・分）について指導した上で、本単元では、意図的にピザを焼く役割にする。

※【今後の学びへのつながり】

年間指導計画では、年度末に「お別れ会をしよう」を設定している。本単元での学びを活かして、「何かを作ってみんなで食べて楽しみたい。」「お世話になった人に感謝の気持ちを表すためにプレゼントを渡したい。」という発想につなげる。また、本単元で身に付けた資質・能力を活かすことができる活動を設定する。

Aさんには、教科別の学習（数学）で、時間（秒・分）についての定着を図る。

【参考】国立特別支援教育総合研究所 HP 知的障害教育における学習評価に関する情報普及ページ

https://www.nise.go.jp/nc/study/others/disability_list/intellectual/learningevaluation